



2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年5月13日

上場会社名 HPCシステムズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6597 URL https://www.hpc.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)小野 鉄平
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)下川 健司 (TEL) 03-5446-5530
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第3四半期の業績 (2019年7月1日~2020年3月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	3,938	△12.9	450	4.7	438	2.6	303	13.5
2019年6月期第3四半期	4,521	—	430	—	427	—	267	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	74.47	69.75
2019年6月期第3四半期	66.18	—

- (注) 1. 2018年6月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2019年6月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 当社は、2019年7月10日付けで普通株式1株につき普通株式500株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算出しております。
3. 2019年6月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は2019年6月期第3四半期においては非上場であり、期中平均株価を把握できないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	2,848	1,448	50.8
2019年6月期	2,277	1,053	46.2

(参考) 自己資本 2020年6月期第3四半期 1,447百万円 2019年6月期 1,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年6月期	—	0.00	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年6月期の業績予想 (2019年7月1日~2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,673	△13.4	469	27.0	457	24.7	309	41.1	75.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年6月期3Q	4,090,000株	2019年6月期	4,040,000株
② 期末自己株式数	2020年6月期3Q	—株	2019年6月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年6月期3Q	4,074,364株	2019年6月期3Q	4,040,000株

(注) 当社は、2019年7月10日付けで普通株式1株につき普通株式500株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、景気が足元で大幅に下押しされ、極めて厳しい状況となっております。同様に世界経済についても感染症の世界的大流行に伴い、経済活動が抑制されており、急速に減速しております。また、先行きについても感染症の影響による厳しい状況が続くと見込まれ、内外経済をさらに下振れさせるリスクに注意が必要とされております。

当社が属するコンピューティング業界においては、引き続きクラウド、人工知能(AI)、ディープラーニング、ビッグデータ処理などの技術革新の進展などを背景に、民間企業、大学等公的機関の研究開発部門における一定の設備投資需要は期待されるものの、感染症の影響に伴う内外経済の下振れによる設備投資需要の落ち込みの影響が懸念されます。

このような経営環境の下、当社は経営理念である「人とコンピューティングの力で世界平和に貢献する」のもと、科学技術計算用コンピュータ事業(以下HPC事業)及び産業用コンピュータ事業(以下CTO事業)の収益拡大に取り組んでおります。

科学技術計算用コンピュータを展開しているHPC事業は、従来の大学研究室や公的研究機関からの受注を確保しつつ、民間企業の研究所・R&Dセンターなどで実施されている大規模・高精度な科学技術計算向け高性能計算機の拡販を強化し、受注に繋げております。

産業用組込コンピュータを展開しているCTO事業は、半導体検査装置、医療装置、アミューズメント機器向け継続顧客の受注継続に努めるほか、画像処理、ディープラーニング、スマートファクトリーなどを戦略分野と定め、新規顧客の獲得に注力しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は、3,938,279千円(前年同四半期比12.9%減)、営業利益450,782千円(前年同四半期比4.7%増)、経常利益438,921千円(前年同四半期比2.6%増)、四半期純利益303,402千円(前年同四半期比13.5%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① HPC事業

科学技術計算用高性能計算機に関するソリューション販売は、大学研究室など公的機関や、ディープラーニング、ビッグデータ処理、及び自動運転分野等に設備投資を行っている民間企業へ好調に推移してはいたりましたが、比較的採算の良い案件を重視した影響で、前年に計上した液浸サーバーシステムの大口販売による減少を吸収するには足りませんでした。但し、低粗利の大口販売がなくなった一方、採算の良い案件が増加したことで利益率が改善いたしました。

以上の結果、HPC事業の売上高は2,782,859千円(前年同四半期比15.0%減)、セグメント利益は314,384千円(前年同四半期比11.7%増)となりました。

② CTO事業

半導体検査装置、アミューズメント機器向けなどの継続顧客に対する売上は堅調に推移しましたが、前年に計上したディープラーニング分野におけるデータサイエンティスト向けワークステーションの大口販売による減少を吸収するには足りませんでした。

以上の結果、CTO事業の売上高は1,155,419千円(前年同四半期比7.5%減)、セグメント利益は136,398千円(前年同四半期比8.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は2,630,564千円となり、前事業年度末と比べ577,048千円増加いたしました。これは主にたな卸資産が133,581千円、前渡金が47,850千円、受取手形が28,334千円減少したものの、売掛金が635,854千円、電子記録債権が148,561千円増加したことによるものであります。固定資産は218,396千円となり、前事業年度末と比べ5,160千円減少いたしました。これは主に機械及び装置が4,659千円増加したものの、ソフトウェアが7,247千円、建物が2,519千円減少したことによるものであります。

以上の結果、総資産は2,848,961千円となり、前事業年度末に比べ571,888千円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は1,327,719千円となり、前事業年度末と比べ232,508千円増加いたしました。これは主に未払法人税等が52,687千円、1年内返済予定の長期借入金が39,110千円、賞与引当金が36,654千円、未払費用が19,653千円、役員賞与引当金が16,898千円減少したものの、買掛金が202,669千円、短期借入金が200,000千円増加したことによるものであります。固定負債は72,834千円となり、前事業年度末と比べ55,563千円減少いたしました。これは長期借入金が55,563千円減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は1,400,553千円となり、前事業年度末に比べ176,945千円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,448,407千円となり、前事業年度末と比べ394,942千円増加いたしました。これは公募増資に伴い資本金及び資本準備金がそれぞれ45,770千円増加した他、四半期純利益303,402千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2019年9月26日付「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました2020年6月期の業績予想を以下の通り修正いたしました。

なお、修正内容の詳細につきましては、本日(2020年5月13日)別途開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回(2019年9月26日) 発表予想(A)	5,785	469	457	309	75.95
今回発表予想(B)	4,673	469	457	309	75.95
増減額(B-A)	△1,112	—	—	—	—
増減率(%)	△19.2	—	—	—	—
前期(2019年6月期)実績	5,395	369	367	219	54.33

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	938,336	938,096
受取手形	28,334	—
売掛金	302,632	938,486
電子記録債権	127,462	276,023
製品	33,695	48,933
仕掛品	164,375	85,558
原材料及び貯蔵品	269,982	236,122
未着品	45,674	9,531
前渡金	81,129	33,278
前払費用	29,583	35,475
その他	32,309	29,057
流動資産合計	2,053,515	2,630,564
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	39,233	36,713
機械及び装置（純額）	32,046	36,706
車両運搬具（純額）	672	442
工具、器具及び備品（純額）	4,891	3,887
土地	14,698	14,698
有形固定資産合計	91,542	92,448
無形固定資産		
ソフトウェア	48,570	41,323
無形固定資産合計	48,570	41,323
投資その他の資産		
出資金	10	10
長期前払費用	330	23
繰延税金資産	72,742	71,281
その他	10,360	13,309
投資その他の資産合計	83,444	84,624
固定資産合計	223,557	218,396
資産合計	2,277,072	2,848,961

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	847	1,509
買掛金	132,037	334,706
短期借入金	350,000	550,000
1年内返済予定の長期借入金	113,194	74,084
未払金	42,764	28,496
未払費用	39,853	20,199
未払法人税等	108,234	55,546
前受金	85,029	96,771
預り金	5,669	7,041
賞与引当金	93,067	56,413
役員賞与引当金	31,327	14,429
製品保証引当金	18,279	26,677
その他	74,906	61,843
流動負債合計	1,095,210	1,327,719
固定負債		
長期借入金	128,397	72,834
固定負債合計	128,397	72,834
負債合計	1,223,607	1,400,553
純資産の部		
株主資本		
資本金	153,000	198,770
資本剰余金		
資本準備金	150,000	195,770
その他資本剰余金	101,000	101,000
資本剰余金合計	251,000	296,770
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	648,125	951,528
利益剰余金合計	648,125	951,528
株主資本合計	1,052,125	1,447,068
新株予約権	1,339	1,339
純資産合計	1,053,464	1,448,407
負債純資産合計	2,277,072	2,848,961

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自2019年7月1日 至2020年3月31日)
売上高	4,521,946	3,938,279
売上原価	3,354,638	2,661,820
売上総利益	1,167,307	1,276,459
販売費及び一般管理費	736,620	825,676
営業利益	430,686	450,782
営業外収益		
受取利息	44	26
為替差益	—	356
保険配当金	448	387
受取地代家賃	249	—
業務受託料	900	750
その他	329	251
営業外収益合計	1,971	1,771
営業外費用		
支払利息	3,733	2,284
為替差損	1,160	—
株式公開費用	—	11,316
その他	11	32
営業外費用合計	4,905	13,632
経常利益	427,753	438,921
特別損失		
固定資産除却損	0	669
特別損失合計	0	669
税引前四半期純利益	427,753	438,251
法人税、住民税及び事業税	158,328	133,387
法人税等調整額	2,071	1,461
法人税等合計	160,400	134,849
四半期純利益	267,353	303,402

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社株式は、2019年9月26日に東京証券取引所マザーズ市場に上場し、2019年9月25日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による増資により、発行済株式総数が50,000株、資本金及び資本準備金がそれぞれ45,770千円増加しております。この結果、当第3四半期会計期間末において、資本金は198,770千円、資本準備金は195,770千円となっております。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間（自 2018年7月1日 至 2019年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 損益計算書 計上額
	HPC事業	CTO事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,272,826	1,249,119	4,521,946	—	4,521,946
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,272,826	1,249,119	4,521,946	—	4,521,946
セグメント利益	281,334	149,351	430,686	—	430,686

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期累計期間（自 2019年7月1日 至 2020年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期 損益計算書 計上額
	HPC事業	CTO事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,782,859	1,155,419	3,938,279	—	3,938,279
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,782,859	1,155,419	3,938,279	—	3,938,279
セグメント利益	314,384	136,398	450,782	—	450,782

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。